



湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリー： 変化をもたらす

第 2721回 例会
平成30年6月1日（金）
天候 曇り
合唱 君が代
それでこそロータリー

会長 石倉 幸久
幹事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

近年、「アーティスト・イン・レジデンス」の取組みを推進する自治体が増えております。利点としては、作家の方がその土地に集まって制作してくれることによって、制作の様子や出来上がった作品を見に来る人が増えることや、「芸術の町」としてのブランド化が出来ることが挙げられます。それに加えて、作家の方が滞在中に地元の人と交流し、地域の良さを体感して、自身のベース拠点へと戻っていくために、戻ってからも、その土地の「営業マン」となってくれることが期待されます。つまり、新たなファン作りの起爆剤となってくれる可能性があるわけでございます。

湯河原は元々、芸術とゆかりの深い町でございます。「かつての著名な画家や小説家のように、温泉と豊かな自然のある湯河原で逗留してみませんか？」というアプローチをかければ、関心を持ってくれる芸術家の方が出て来る可能性は十分あると思います。空き家をリノベーションして作家さんのアトリエ兼展示スペースにすることで、空き家活用に繋げることが出来るかも知れませんが、滞在中は町内の旅館に長期で泊まっていただくことも出来ます。町としての強みを活かした活性化のアプローチとして、「アーティスト・イン・レジデンス」という発想は、今後検討の余地があるのではないのでしょうか。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

- 1. 6月のロータリーレート 1ドル110円
ガバナーより
- 1. 米山学友会主催「クリーンキャンペーン」のお知らせ
日時：7月8日（日）11時～16時
集合場所：小田急線「片瀬江ノ島駅」
会費：3,000円
申込期日：6月25日（月）

連絡事項

- 1. 6月4日の月曜日の家族親睦会に参加される方は、午前10時までに湯河原駅（土肥實平銅像前）に集合して下さい。尚、8日の金曜日は通常例会を行います。

スマイルBOX

結婚記念日 山本明峰君（6/1）
高知尾朝行君・石田浩二 湯かけまつりが無事終了しました。
伊場野雅代君
前回の進行で出席報告をとばしてしまいました。

卓話

佐藤友彦君
湯河原ロータリークラブに入会して2回目の卓話です。昨年、初めてお話しさせて頂いた際には一昨年まで14年間在籍し活動をさせて頂きました青年会議所の事をお話しさせて頂きました。その時の内容は青年会議所という組織の概要と小田原青年会議所の事業を簡単にご説明させて頂きました。本日は小田原青年会議所の事業ではありませんが、私が携わらせて頂いた中で特に思い入れのある事業についてお話をさせて頂きます。まず、私が小田原青年会議所に入会をしたのが2003年です。年齢で言うと26歳の時でした。10年後の2013年に理事長をさせて頂きました。理事長の任期は1年ですので卒業の40才まで3年間のこっていました。青年会議所という組織は北海道から沖縄まで約700の地域に独立した青年会議所があります。

事前メイクアップ 1名

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 3名	会員24名
	欠席5(免除者2名)	前回の修正出席率100.00%	
	出席率86.36%	前々回の修正出席率86.96%	

ロータリーというクラブと同じものです。また、同じように各都道府県や地区ごとに協議会があり日本全国の青年会議所から約2000名が出向する形で日本青年会議所という組織があります。理事長の役目が終了した2014年に日本青年会議所の議長として全国各地の地域活性化を目的とした活動を行う事になりました。この年は年間200日位全国各地を回り、様々な地域の青年会議所メンバーと連携をしながら事業を構築して参りました。その中で大きく成果を出すことが出来た事業をご紹介します。当時、地域を活性化させる要因は大きく区分すると定住人口の増加と交流人口の拡大と定義づけて事業を企画していました。事業を構築していく中で当時、多く開催されていたグルメ系のイベントのように多くの来場者があっても短期間で終了するイベント即ち一過性の事業ではなく、継続的に収益が上がり雇用を創出できる事業を創ろうと考えました。当時、人口減少に歯止めが効かず、深刻化していた地方の農業生産者と企業を結びつけて雇用を創出する事業に着手しました。その事業も単年では出来るどころも限られていますが数年をかけて継続する中で事業規模も大きく拡大し大きな成果を残すことが出来ました。そして、もう一つの事業は成果を残せたという事ではありませんが、個人的に想い入れのある事業をご紹介します。先程、お話ししましたが青年会議所は北海道から沖縄まで10個の地区に区分されています。翌年に縁あって関東1都7県（山梨県）含む関東地区協議会という組織の会長を務めさせて頂きました。話は少し逸（それ）ますが私は自衛隊に凄く興味がありまして、私の会社のビルメンテナンス業でも清掃等の業務が自衛隊から発注されています。その中に陸上自衛隊の朝霞駐屯地から硫黄島の貯水槽清掃の仕事が入札の案件で出ていました。硫黄島に行ってみたくという理由から何度もチャレンジしたのですが結果的に一度も落札出来ず硫黄島へ行く事は出来ませんでした。そして話はJ.Cの事へ戻りますが会長を務めさせて頂いた関東地区協議会では2008年から青少年に確かな歴史認識を以て貰う事と今日の豊かさに感謝の念を頂いて貰う為に大東亜戦争の激戦地であった硫黄島に訪島する事業を開催していました。こうして、長年の念願であった硫黄島に訪島する事が出来ました。硫黄島は現在、日本政府の管理下となっており年に数回の遺骨収集活動及び戦没者の遺族の方々が慰霊に訪れるしか出来ません。

個人的にはおそらく人生の中でもういく事出来ない場所だと思っています。残りの時間は訪島した際に写真を撮ってきましたので、少しご説明させて頂きます。まず、クリント・イーストウッド監督の硫黄島（いおうじま）からの手紙で有名ですが正確には硫黄島（いおうとう）と言います。また、硫黄島（いおうじま）という島はもう一つ鹿児島県に存在します。硫黄島（いおうとう）は東京から南に約1200kmの場所にあり所在地は東京都小笠原村になります。当日は埼玉県朝霞駐屯地から陸上自衛隊の輸送機にて上陸しました。上陸すると島名の通り硫黄臭が強く、7月上旬でしたが気温は40度近くあり環境的にも激戦の地と呼ばれるものであり、多くの兵士が病死したことも理解できるものでした。島は面積にして約27㎢と小さく写真でわかる様に自衛隊の基地関連の建造物以外は何もありません。写真にある山ですが、アメリカ軍兵士が星条旗を立てた播鉢山（すりばちやま）です。栗林忠道をはじめとする日本軍は無数の坑道を幌上げて身を潜め、上陸前の72日間にも及ぶ爆撃に対して力を温存すると共に敵軍を完全に油断させた上で海岸に次々に上陸するアメリカ軍に対して攻撃を行ったのがこの播鉢山です。ここからは少し駆け足で参りますが、この写真の様に島内の至る所に当時の戦車や航空機、機関銃等の残骸が手付かずのままに残っています。また、この写真が先程話した坑道です。実際に中に入ると物凄く熱く感覚としては温浴施設のサウナに入っているようです。5分ほど居るだけで汗が溢れ出てくる中に数十日も身を潜める事は信じがたい事であると同時に強靱な精神力にただ驚くばかりでした。そして、このように生活をしてきた面影が完全に残されています。また、この入口の写真に見られる穴は砲弾の痕です。この数を見るだけで瞬時にどれだけ激しい爆撃を受けたのか実感しました。改めて言葉に出来ない感情が湧き出ると共に言葉を失う光景でありました。最後になりますが、14年間の青年会議所活動の中でこのように多くの経験をさせて頂きました。また、硫黄島に行って改めて今日、何の不自由なく生きていける事に決死の覚悟をもって戦った先人が居たことに感謝を忘れてはならないと強く感じています。拙い卓話ではございますがご清聴ありがとうございました。



卓話 佐藤友彦会員

